



優秀賞を受賞した新ウランバートル国際空港
（報道発表資料から）

モンゴルの空港でFIDICプロジェクト・アワード優秀賞

オリエンタルコンサルタンツグループが携わった「モンゴル国新ウランバートル国際空港建設プロジェクト」が、国際コンサルテイング・エンジニアリング連盟（FIDIC）プロジェクト・アワード2022優秀賞を受賞した。スイス・ジュネーブで12日に開催されたFIDIC2022大会で決まった。同アワードは世界各国の経済発展や地域社会の生活水準の向上に寄与したプロジェクトを表彰する。同社の受賞は2年連続で

オリコンサルグローバル

4回目となる。同プロジェクトは案件形成調査から設計、施工監理までを実施。施工の際の搬入・搬出土量を最小限にし、施設内のエネルギー使用量を抑えた設計で環境負荷に配慮した。ユニバーサルデザインをコンセプトに視覚・聴覚障害者にも使いやすい案内サインや、車いす利用者用トイレなどを設置した。階層の移動が生じない動線により、旅客の負担も最小限とした。こうした工夫が評価され、受賞に至った。

ウランバートルには既存の国際空港があったが、地理的な制約で十分な離着陸回数と安全性が担保できず、就航率は極めて低い状況だった。そのため200万人規模の旅客に対応できるターミナルビルを含むターミナル地区と、3600坪級の滑走路を円借款で建設した。同アワード2022ではベトナムのグループ会社、TEDIも「Cua Hoi橋プロジェクト」で優秀賞を受賞した。